

### 第3回 県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議

日時 令和2年9月10日(木) 15:45～16:05

場所 青森県庁秘書課 第三応接室

(司会)

皆さんお揃いですので、ただいまから、第3回県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を開催いたします。本日の会議は、これまでの連絡会議と同様に、市町村を代表いたしまして、市長会の小野寺会長様、町村会の浜谷会長様に御出席いただいております。

それでは、早速ではございますが、両会長様から要望書の提出をお願いします。前の方をお願いいたします。

#### 【両会長から知事に要望書を手交】

(司会)

ありがとうございました。それでは、両会長から、要望書の趣旨説明等をお願いしたいと思います。まず、市長会 小野寺会長様からよろしくお願いします。

(市長会会長)

本日は、6月に引き続き、第3回連絡会議ということで開催いただきまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策については、県・市町村が一体となってこれまで感染拡大防止や地域経済の立て直しに取り組んでおります。ただまだ終息の見通しが立たない中があります。市町村も長期間、これで半年になりますが、対応を続けるということで、財政的なことも含めて大変厳しい状況でございます。

また、各市町村立の病院、公立病院、診療所等の医療機関では、当面コロナ対策のための医療体制の継続、また、感染拡大防止対策の継続ということで、経営への影響が非常に大きいという状況でございます。

このようなことから、本日は要望を申し上げさせていただき次第でございます。要望項目は3点挙げてございます。

一つ目に、地域経済の立て直しに取り組んでいくために、県の地域経済対策事業費補助金の更なる拡充、それから感染症拡大予防などの事業にも幅広く充当できるよう対象事業を

見直ししていただけるようお願い申し上げます。

二点目に、国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を活用し、各市町村が実施する感染防止対策への支援や、公立・公的病院をはじめ地域医療を担う医療機関の経営支援、さらには通常の診療を維持するための医療資材の備蓄等について御支援をいただきたいというものであります。

三つ目に、各市町村は、自分の住んでいる地域で住民の方々、新規感染者が発生した場合、どのような対応がとられるのかなど、住民の不安に直面して対応するのが私共市町村でございます。県におかれましては、感染拡大状況や保健医療圏ごとの病床確保状況など、各市町村に対して正確かつ適切な情報発信をお願いしたいという、以上の3点でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。次に町村会 浜谷会長様からよろしくお願い致します。

(町村会会長)

それでは、私の方からも。皆さん改めまして今日は、三村知事をはじめ、県御当局の皆様方には、貴重な時間ありがとうございました。また、新型コロナウイルス対策に大変御尽力いただいています。

御案内のように、現在の感染者は35名ですが、8月27日の2名以来、青森県は非常にがんばっているということで。それでは肝心の要望ですけれど、若干説明させていただきたいと思います。

まず1点目ですけれど、私共30町村では、国の臨時交付金と併せて、県の地域経済対策事業費補助金をしっかりと地域経済を下支えすべく各種事業に最大限利用・活用させていただいているところであります。一方でまた、全国の感染者数はやや減少傾向にありますけれども、依然として警戒態勢が続いています。そういった中で地域経済がなかなか回復しないことが懸念されており、今後も懸念されております。そういったことで引き続き、現下の地域経済を下支えしていけるように、継続して、さらに拡充していただけるようお願い申し上げます。

2点目について、前回の連絡会議でもお話しさせていただきましたけれども、また今、小野寺会長様からもお話がありましたが、町村部の自治体病院は、慢性的な医師不足や恒常的な赤字など大変問題が出てきております。こういった厳しい状況の中であって、病院も経営でありますので、そういったことに対しまして、引き続き地域医療を担う自治体病院経営に

財政支援を講じていただきたいと国に対して取り組んでいただきたいと思います。

最後に3点目です。先日、青森県町村会では定期総会がありましたが、有賀健康福祉部長さんにわざわざお越しいただきまして、先ほど小野寺会長様からもお話ありましたが、先般、県で公表いたしましたいわゆる情報公表基準について、懇切丁寧に分かりやすく説明していただきました。そういったことで、今後、住民に対する情報発信についてやはり不安感を持たれないようにということで、その点についてもぜひよろしくお願い申し上げます。

以上、我々町村会としても、感染防止と経済活動の両立に向けて、県と緊密に意見交換していきたいと思います。よろしくお願いいたします。以上でございます。

(司会)

ありがとうございました。それでは、ただいま要望書の説明等いただきましたので、知事から一言申し上げます。

(知事)

小野寺会長、そして浜谷会長さんをはじめとして、各市町村長さんにおかれましては、この新型コロナウイルス感染症の感染予防対策や地域経済の回復、そして住民生活の安全・安心の確保につきまして、本当に日々懸命に御尽力いただいております。心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の新規感染者につきましては、浜谷会長さんからもお話ございましたけれども、県では散発的な状況となっておりますが、全国的には地域差も大きくなってきたなど、北東北3県はこういう状況ですが、関東に行けばあのような状況で、本当に地域ごとに大きく差が出てきている状況で、依然として予断を許さない状況にあると認識しているところです。

こういった中で、ソーシャル・ディスタンスなど「新しい生活様式」の定着を図りつつ、段階的に社会経済の活動レベルを引き上げ、県内経済の好循環を早期に取り戻すためには、地域の状況に応じた、きめ細やかな対応を市町村と連携して、迅速かつ柔軟に進めていくことが大変重要と考えております。ただ今お話いただきました、それぞれの市町村からの思いをしっかりと受け止めさせていただいて、対応していきたいと思います。

#### 【要望1 地域経済対策補助について】

まず一つ目の地域経済対策補助金の拡充等についてですが、依然として感染収束が見通せず、地域経済の回復基調が見えない中で、地域経済の回復に向けた動きを早期に本格化させていくためには、市町村の皆様に対する更なる支援について、議会等もありますが、今後前向きに進めていきたいと考えております。足元から経済がよくなっていくということが

非常に大事だと思っており、前向きに努力しますので、ぜひともまた足元から経済が動くような仕組みづくりを通常どおり行っていただければと思います。

### 【要望2 緊急包括支援事業について】

次に二つ目についてですが、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」は、事業のメニューが定められており、柔軟な運用ができないことから、各市町村が独自に実施する感染防止対策への支援については、地方公共団体が実情に応じてきめ細やかに実施できる事業に充当できる「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用いただき、引き続き、我々としては全国知事会を通じて、国に対してこの部分の増額を要望していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けました医療機関への経営面への支援については、経営危機により医療サービスを低下させないための適切な支援策を講じるよう、県としても、全国知事会を通じて国に対しこの部分の増額について要望しているところであり、今後も国の動向を注視し対応していきたいと思っております。現場としてお力もお貸しいただければと思います。

なお、通常の診療を維持するための医療資材については、国の「医療機関等情報支援システム（G-MIS）」を活用し、医療資材に不足が生じないように、マスク、手袋、ガウンなどの確保状況を把握し、国と連携して、必要な医療資材を提供しており、今後も引き続き医療資材の確保を支援していきたいと考えております。

### 【要望3 情報発信について】

最後の情報発信についてですが、県では、「青森県新型コロナウイルス感染症対策総合サイト」を作成し、陽性者の状況、検査実施件数、相談件数等を視覚的に分かりやすく掲載しまして、感染状況等を情報発信しています。

また、病床確保状況については、保健医療圏域間での医療資源の偏在があり、圏域内のみでの医療提供体制が完結していない圏域もある状況でございます。そこで、7月17日に「新型コロナウイルス感染症に係る医療確保計画」を策定しまして、圏域を超えて全県で確保することを目指しており、定期的に病床確保状況等を公表しているところです。

県としては、県民の皆様に対しまして、引き続き正確かつ適切な情報を発信していきたいと思っております。

(司会)

それでは、両会長様から何か御発言がございましたら、お願いします。

(市長会会長)

まずは、地域経済対策事業費補助金については、議会もあるということですが、知事から

力強いお話をいただきまして、大変ありがたいことだとまず感謝申し上げたいと思います。県議会にもよろしくお伝えください。

2点目、3点目について、実は先般青森県市長会総会が8月21日にありましたが、2点目、3点目の件について議論が非常に白熱しましたので、ぜひ私から各市長になりかわってお話させていただきたいと思います。

一つは公立病院での感染症対策についての御支援につきましては、市町村それぞれ大きさ、大小も違いますし、個別の事情も違うので、それぞれの事情に配慮した上で、十分な経営支援、国の動向も注視するというお話がありましたけれども、国にもしっかりと伝えていただきつつ、県としても主導権をとってぜひ経営支援にお力をいただきたいという強い意見が一つあったというのがございます。

それから、クラスターが発生した場合は、市町村一つの病院では、なかなか医師、看護師、病床の確保は難しいという不安の声が各市長さんからありました。先ほど、保健医療圏域の偏在のお話もありましたので、これは正に広域自治体としての県でぜひアレンジ、システムをしっかりとさせていただきたいという意見もありましたので、ぜひお伝えしたいと思います。

3つ目の情報伝達のところでございます。これも非常に強い意見がございまして、県には保健所があって、青森と八戸も保健所を持っていますからよいのですが、保健所と市、また町村もそうだと思いますが、保健所と市の連絡・伝達というところで、圏域ごとの病床、先ほど町村会には有賀健康福祉部長が懇切丁寧に説明いただいたということでしたが、うちもお呼びすればよかったと思いますけれども、保健所から各市に伝達する、あるいは軽症患者をどこに受け入れていくんだという話も含めて、やっぱりなかなか県という組織の保健所から伝わってこないというお声が各市から寄せられております。この点は、青森・八戸とそれ以外の市町村は違うと思います。実働部隊となります市町村への丁寧な伝達、特に先ほどの医療確保計画や病床の件について、保健所と市町村の、特にトップとも含めて密接に情報を伝達していただくことを強く申しついておりますので、この場をお借りしてお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(司会)

ありがとうございました。それでは、ただいまの部分につきまして、有賀部長お願いします。

(有賀部長)

1点目の公立病院の経営支援については、先ほど知事からお話ししたとおりではあるのですが、資機材や設備の点も組み合わせながら支援を引き続き行っていきたくと思います。

2点目の保健医療圏で連携できるシステムについてですが、県では、新型コロナウイルス感染症患者専用の病棟を設定する重点医療機関や疑い患者専用の個室を設定する協力医療機関等を指定し、患者発生時に受入れ医療機関を調整することで、一部の医療機関に過度の負担をかからないよう、連携体制の構築を進めているところです。

3点目の保健医療圏ごとの病床については、知事からお話ししたとおりです。具体的に言えば、軽症患者の受入れ場所の確保のことでありますが、県では、軽症患者等を療養するための宿泊療養施設を青森市内に30室確保しているところであり、引き続き他圏域においても確保することで進めております。

情報発信ですが、町村会にはお伺いしましたが、市長の方は、小野寺会長さんとは直接お話ししましたが、他の市長さんとも実は個別に全てお話ししております、いざというときの連絡をどうするかということについても私の方で各市ごとにやりとりさせていただいたところがございます。ですので、もし圏域で何か起これば、密に提供して参りたいと考えております。これまでも、青森市さんは既に何件か出ているので直接色々やり取りさせていただいたところですが、これまで以上に、これまでを踏まえながら、さらにより情報提供のやり方を健康福祉部と各市町村とで考えたいと思いますので、引き続き御指導や御指摘があればよろしく申し上げます。

(市長会会長)

青森・八戸は多分よいのだと思いますが、ほかの市町村は、病床が増えたと県から発表があった時に、どこが増えたのか、まだ聞いていないという話が市長会でも往々にして出るので、その辺の連携、保健所長が情報を出していくときの市町村長との連携について、ホットラインも含めてぜひよろしく申し上げます。

(町村会会長)

私から2つほどお話しします。

まず、1点目はお礼でございます。修学旅行について、色々心配されて延期や中止を検討していたところもありますが、県のキャンペーン、そろそろ決断しなければいけないというところで県内での旅行を検討し始めてきておりますので、子どもたちにとっても保護者にとっても思い出になるのかなということで感謝申し上げます。

それから、今日全国の町村会でのwebでの会議がありまして、その中で、全国で色々な問題が出ている中で、これから冬場にかけて、この新型コロナとインフルエンザの両方がこれから発生していく可能性が高いわけでありまして、この両方に対応できるような医療体制の構築について非常に心配されております。対応可能な病院はよいのですが、うちで

も議会でも出ましたが、もし発生した場合の、町では紹介というだけでいいのかという、そんな簡単なものではないんですけれども、その症状・実態に合わせた手順を県の指導の仕方でやっていくという話はしましたけれども、現実的にそのような場面も近づいてきているので、対応できるような体制づくりについてよろしくをお願いします。

(知事)

しっかり段取りするということで。

(町村会会長)

お願いします。

(司会)

若干時間も過ぎましたので、以上をもちまして、第3回県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を終了させていただきます。本日は大変ありがとうございました。